

学ぼう伝えよう

# 輝く 恵那人 HUMAN WATCH



207  
人目



大井町上本町  
ふるやま ともひさ  
古山 智久 さん (41歳)

□プロフィール  
平成17年4月市消防団入団。大井分団部長。少年サッカー(FC恵那アヴァンツァーレ)コーチ。みのじのみり祭や恵那峡もみじまつりなどでは、ディスクジョッキー(DJ)を務める。二児の父。

## 市民の安心安全を守る 市消防団大規模災害隊員

両親とバイク販売店を営み、車検や整備なども行う古山智久さん。県内初の取り組みとして、令和3年2月に発足した市消防団大規模災害隊のバイク隊で、中心的な役割を果たしている。

大規模災害隊は、地震や風水害などの自然災害で、市内に大きな被害が発生した際に、団長の命令を受けて出動する特別な部隊。災害の最前線で、オフロードバイクやドローン、チェーンソーを使って、被害状況の確認や記録、被災者の安否確認や避難誘導、倒木除去などの任務に当たる。

隊の発足に当たり、所属分団から入隊のため、周囲に心配を掛けると思い家族に相談した。すると「バイクに関わることだから、しっかり頑張っておいで」と、勇気とともに背中を押された。

バイクに関する豊富な知識と、優れた運転技術は、すぐに消防署や他の隊員の信頼を得た。訓練では、災害現場に見立てた未舗装路の走り方や、タイヤが溝などにはまった場合の脱出方法を実演。他の隊員にアドバイスをするなど、バイク隊に欠かせない存在となった。



▲バイク訓練で未舗装路の走り方を実演する古山さん

家族と仲間に支えられているからこそ思うことがある。「災害現場は、常に危険と隣り合わせ。しかし、隊員にはそれぞれ大切な家族がいる。二次災害を起こさないためにも訓練を積み重ね、知識と技術を身に付けなければならない。」

昨年5月と8月に市内で発生した豪雨災害では、大規模災害隊の出動機会はなかった。「自分たちの出番がないのが理想。でも、自然災害はいつどこで起こるか分からない。生活も訓練も日頃から備えておくことが大事」と訴える。

新しい年を迎え、「みんなが笑顔で過ごせる平穏な年になることを願っています。市民の安心安全を守るため、気を引き締めて訓練に臨みたい」と、力強く誓った。



はじめまして  
えなっ子  
出生おめでとう  
(11/16~12/15届出分)

( )は保護者

1歳おめでとう。毎日幸せをありがとう。大好き♡		いつもかわいいうつもかわいい笑顔。元気で優しい子に育ってね♪		食いしん坊なちゃん1歳おめでとう!		1歳おめでとう。元気に育ってね	
鈴木尊馬くん 父 直樹さん 母 美文さん	上矢作町	佐藤心陽ちゃん 父 正隆さん 母 梢さん	岩村町	篠原菜乃花ちゃん 父 翔さん 母 美優さん	東野	坂上鞠朱ちゃん 父 昇さん 母 三奈さん	大井町



2月に1歳の誕生日を迎えるお子さんの写真を募集します。  
①お子さん1人で写った、顔全体と胸から上が入っている写真 ②住所(町名まで) ③氏名(ふりがな) ④生年月日 ⑤性別 ⑥電話番号 ⑦両親の氏名(ふりがな) ⑧32字以内のコメント ⑨ケーブルテレビ放映の可否を、1月14日(金)までに電子メール(☎info@city.ena.lg.jp)か申し込みフォームで申し込みください。土日祝を除き3日以内に掲載可否を連絡します。掲載は先着8人までです。



写真例

## 地域と未来をつなぐ 伝統芸能発表会

大井小学校



6年生(文楽コース)  
水野 結さん

文楽は小学生になるまで知りませんでしたが、講師の先生から薦められたことがきっかけで、太夫を務めました。本番前は緊張しましたが、最後まで語り切ることができました。機会があれば、また文楽の世界に触れてみたいです。

地域の講師の方から、地元の伝統芸能を学んできた6年生。文楽や茶道、箏、太鼓の四つのコースから一つ選び、約半年間練習に励んできました。

12月3日には、保護者と次年度伝統芸能に挑戦する5年生に、練習してきた成果を発表。伝統芸能の奥深さに触れながら細かな所作にも心を込め、それぞれの舞台を作り上げました。

5年生は、気持ちを一つにして発表する先輩たちの姿を、真剣なまなざしで注視。保護者や講師の方々も、堂々とした子どもの姿を見て、笑顔と大きな拍手でその成長をたたえていました。

